

<http://www.nanao-sh.metro.tokyo.jp/>

夏の暑さも和らぎ、心地よい秋風が感じられるようになりました。児童・生徒も学校生活のリズムを取り戻し、元気に学校生活を過ごしています。

今号では、「デジタル活用端末」と「統合型学習支援サービス (Microsoft Teams)」について、デジタルサポーター (ICT 支援員) による教員向けに行われた各研修、「デジタル活用端末」「統合型学習支援サービス (Microsoft Teams)」を用いた授業の紹介をします。



ICT機器の紹介



<デジタル活用端末について>

デジタル端末とは、教員に対して一人に一台配備されている端末のことです。本校で使用している Surface Go2 は起動時間が早く、操作性の良さがあります。統合型学習支援サービス (Microsoft Teams) の利用ができることから、教材の同時使用や教員同士の教材の共有が可能です。また、児童・生徒とも共有ファイルでつながり、授業に活用しています。また、事前に作成したデータを利用して授業を行い、モニターに映して提示したり、児童・生徒の端末とつなげたりすることで、興味関心を引き出すなど授業に活用しています。

<統合型学習支援サービスについて>

統合型学習支援サービス (Microsoft Teams) とは、東京都教育委員会に提供しているクラウドサービスで、映像や音声による双方向通信、資料の共有等を行う機能があります。本校では、令和4年度より導入し、教員が作成した教材を児童・生徒の各端末で使用するために使用しています。



デジタルサポーター (ICT支援員) による夏のICT研修

教員向けの夏季研修として、ICT 機器活用促進の研修を行いました。デジタルサポーターの業務と、連絡事項、活用できるアプリケーションについての紹介、後半は UD フォント、Word 差し込み印刷といった実務に活かせる内容と、iPad アクセシビリティについて学びました。

研修前半では「すくすくプラス」と「Miro」の2つのアプリケーションについて学びました。「すくすくプラス」は文字、かず、色、形、お金の計算などの学習に適したアプリケーション。「Miro」はオンラインで共同編集可能なホワイトボードツールで、Teams でも活用できます。今回は、「Miro」に実際にサインイン、チーム作成を行い体験し、校内での実践例について学びました。どちらのアプリケーションも授業に活用しやすいことから、今後授業で活用していく予定です。

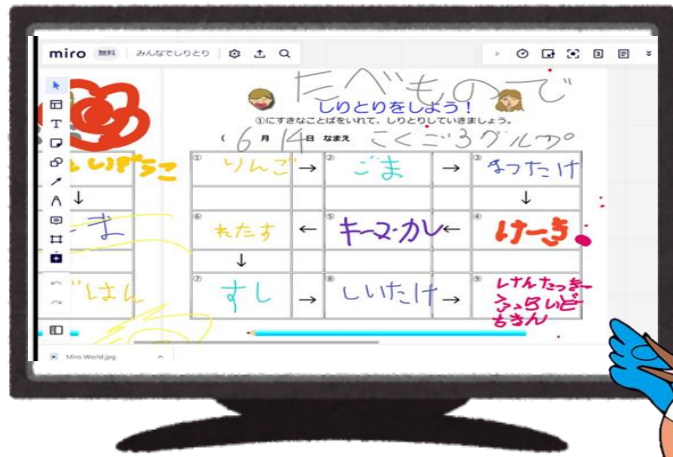
また、児童・生徒が端末を活用するにあたっての注意事項として、端末の正しい終了の仕方、端末から離れるときにロックを付ける習慣を児童・生徒に身に付けさせる重要性について確認しました。iPad アクセシビリティでは使うアプリケーションの制限、アクセスガイドの設定の仕方について学びました。児童・生徒にとって、安心安全な環境設定を行い、学習活動の幅を広げていきたいと思えます。





ICT機器の活用

高等部2年生の国語3グループのしりとり学習では、オンラインホワイトボードツール「Miro」を活用し、取り組んでいます。授業では、生徒それぞれのスマートスクール端末から「Miro」のアプリケーションの学習グループのフォルダを開き、教員の作成した「みんなでしりとり」というポートに入り、テーマに沿ってしりとりを行います。アップルペンシルで直接記入したものが、それぞれのスマートスクール端末に反映されます。生徒ごとに文字が色分けされていることから、一目で誰の発言か全員で認識することができます。また、しりとりが浮かばなかった場合は、そのまま自分の端末でネット検索し、検索した結果をもとに、しりとりを答えることもできます。スマートスクール端末を利用することで、主体的に学習に参加し、グループの仲間と情報を共有しながら楽しんで学習することで、学習意欲を引き出しています。



高等部ビルメンテナンス班では、デジタル活用端末とスマートスクール端末を Teams でつないで作業学習に活用しています。作業学習では校内の様々な場所に分かれて清掃活動を行っています。様々な場所で離れて活動することから、作業報告や確認作業を行うことに時間がかかるなどの困難さがあります。しかし、Teams を活用することで、生徒自身がスマートスクール端末から Teams を立ち上げて、生徒同士オンライン会議で中間報告することで、すぐに進捗状況が共有できるようになりました。このオンライン会議での中間報告を行う中で、「相手にわかりやすく伝えるにはどうすればいいか」を自分で考えて報告しようとする姿がより増えてきました。また、作業学習のはじめと終わりに記入する作業日誌も Teams で記入して教員がオンライン上でも確認できるようになっています。そして中学部清掃班とも Teams で連携しており、それぞれ文字や写真で活動内容や引継ぎ事項を伝えあったり、動画を通して清掃道具の使い方を伝えたりしています。

